

床用

SYSTEM M採用
水系2液型アクリルウレタン樹脂塗料

フロアピアニ

カンタン塗装

高性能

誰でもカンタン施工!

フロアピアノは主剤にウレタン成分をもつ樹脂を採用し、硬化系は当社独自の2液硬化システム「SYSTEM M」で硬化させる床用塗料です。SYSTEM Mは**非イソシアネート硬化系**で、イソシアネート硬化系と比較し「安全・低毒性」で「長い可使用時間」を実現します。

1

長い可使用時間

主剤・硬化剤を混ぜてからの可使用時間が一般的な2液型塗料より長く、焦らずに施工可能!



2

攪拌機不要

主剤の缶に直接硬化剤を入れて振るだけで簡単に攪拌が完了!



3

速乾性

一般的な2液型塗料の場合、軽歩行に1日かかるところ3時間(23℃)で軽歩行可能!



様々な既存塗膜に対応!

付着性に優れ様々な既存塗膜に対応します。

| 製品名 | 樹脂系 | 付着性 |
|---------------------------------|---------------------|-----|
| 水系ボウジンテックス アルファ | 水系1液架橋型アクリル | ◎ |
| 水系ボウジンテックス E・#270EX | 水系2液型エポキシ | △※1 |
| 水系ボウジンテックス U | 水系2液型ポリウレタン | △※1 |
| 水系ボウジンテックス #300 | 水系1液型アクリル | ◎ |
| ボウジンテックス #1000 | 溶剤系1液型アクリル | △※1 |
| ボウジンテックス #2000・#2700DG・#2700EX | 溶剤系2液型エポキシ | ◎ |
| ボウジンテックス #5000U・#5000Uハードコート | 溶剤系2液型ポリウレタン | ◎ |
| ボウジンテックス #5400・#5500N | 溶剤系1液架橋型ポリウレタン | ◎ |
| ボウジンテックス エポワイド | ハイソリッド弱溶剤系2液型エポキシ | ◎ |
| ボウジンテックス Uワイド | ハイソリッド弱溶剤系2液型ポリウレタン | △※2 |
| ボウジンテックス #8000・#8700DL・#8000ECO | 厚膜2液型エポキシ | ◎ |
| ボウジンテックス タフタイトU・タフタイトU-ECO | 厚膜2液型ポリウレタン | ◎ |

※1 下塗りに水系ボウジンテックス シーラーを塗装してください。

※2 研磨してから下塗りに水系ボウジンテックス プロエポプライマーを塗装してください。

さらに2液で高性能!

重量物OK

乾燥後はフォークリフト等の重量物の通行もOK!
(23℃ 2日以上)



屋外塗装OK

耐候性に優れるため、屋外にも使用可能!
スーパーキセノンウェザーメーター 500h 異常なし



耐汚染性

タイヤマーク(ヒールマーク)が付きにくく、傷も付きにくい強靱な床面に!



フロアピアノ



一般1液水系アクリル塗料

低臭気・安心安全設計

水系塗料なので、においも少なく作業性◎
さらに、各種有害物質を含まない!

- イソシアネート 無配合
- ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆
- 特定化学物質障害予防規則 非該当
- 厚労省13物質 無配合
- 文科省6物質 無配合
- トルエン 無配合
- キシレン 無配合
- クロムフリー
- 無鉛

諸物性

| 試験項目 | 試験方法 | 結果 |
|----------------|---|------|
| 鏡面光沢度 | JIS K 5600-4-7に準ずる ガラス板に塗付200μ、60度 | 80以上 |
| 引っかき硬度(鉛筆法) | JIS K 5600-5-4に準ずる すり傷 | F |
| 耐摩耗性(mg)(摩耗輪法) | JIS K 5600-5-9に準ずる 摩耗輪CS-17荷重500g×21,000回転 | 45±5 |
| 耐水性 | JIS K 5600-6-1に準ずる 水道水に7日間浸せき | 異常なし |
| 耐温水性 | JIS K 5600-6-1に準ずる 50℃温水に48h浸せき | 異常なし |

耐薬品性 (JIS K 5600-6-1 に準ずる)

| | |
|----------------|------|
| 消毒用アルコール70% | 異常なし |
| 5%塩酸 | 異常なし |
| 5%硫酸 | 異常なし |
| 5%酢酸 | 異常なし |
| 水酸化カルシウム(飽和液) | 異常なし |
| 0.1%次亜塩素酸ナトリウム | 異常なし |
| サラダ油 | 異常なし |
| 灯油 | 異常なし |
| 切削油(マシン油) | 異常なし |

用途



一般工場・倉庫



運搬車両使用工場



機械工場



化学薬品工場・印刷工場



食品工場



事務室・ロビー



電気室・機械室



店舗・通路



屋内パーキング



屋外パーキング



遊歩道・広場・サイクル道路



車両通行通路



歩行者専用通路



階段・廊下

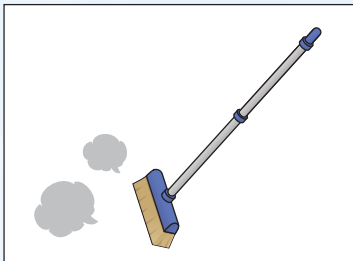
荷姿

- 15.3kgセット(主剤15kg 硬化剤0.3kg)
塗面積:2回塗りで48~64㎡塗装可能です。
- 3.06kgセット(主剤3kg 硬化剤0.06kg)
塗面積:2回塗りで9~13㎡塗装可能です。



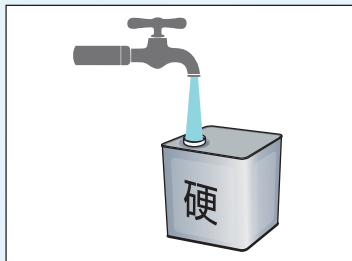
使い方

①下地処理



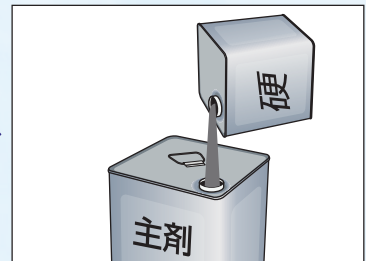
旧塗膜上のゴミ、ほこり、油脂類等は除去し、清浄な素地面にしてください。旧塗膜の種類により目粗しが必要です。

②硬化剤と水を混合



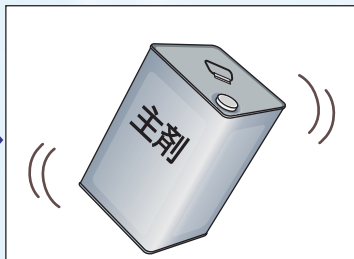
硬化剤に水道水を0.7kg入れ、フタを締めてから缶を振ってよく攪拌します。(小缶の場合は140g)

③主剤と硬化剤を混合



先ほど水道水を混ぜた硬化剤を主剤に入れます。

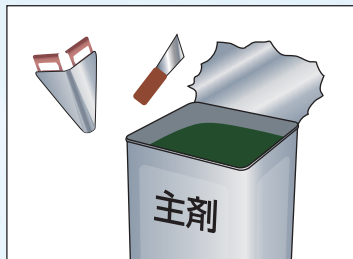
④攪拌



缶を30回以上ほど振りよく攪拌させます。

※フタの締め忘れに注意!!※

⑤天板を開けて塗装開始!



皮スキやVカッターなどで天板を切って開け、塗装開始!

可使用時間
24時間!

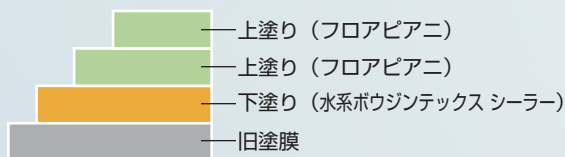
※23℃の場合

混合してからの可使用時間が長いので、あせらず丁寧に塗装できます!

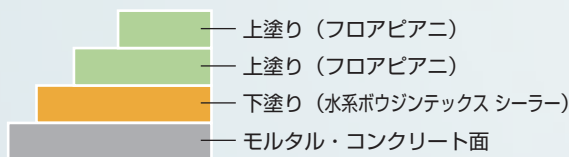
※冬季などの低温時に調合後、塗料粘度が高いと感じた場合は、水を500gまで追加できます。(3.06kgセットの場合は100gまで)

塗装仕様

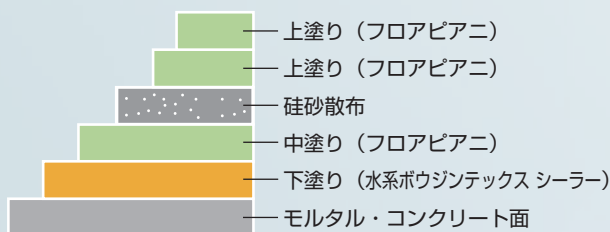
旧塗膜面（平滑仕上げ）



モルタル・コンクリート面（平滑仕上げ）



モルタル・コンクリート面（防滑仕上げ）



塗装仕様

■旧塗膜面(平滑仕上げ)

| 工程 | 使用塗料 | 希釈量 | 塗装方法 | 塗付量 (kg/㎡/回) | 塗回数 | 塗面積 (㎡/缶(セット)) | 可使時間 (23℃) | 塗装間隔 (23℃) | | |
|------|--|----------------|------------|-----------------|-----|-------------------|---------------|---------------|------|------------------|
| | | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 歩行可能 |
| 素地調整 | 下地の汚れ・ゴミ・油分を除去し、必要に応じてサンダーにて目粗しを行う。 旧塗膜の死膜（膨れ・浮き・はがれ部）をケレンし、活膜だけを残す。ワックスが塗付されている場合は除去して充分乾燥させる。 | | | | | | | | | |
| 下塗り | 水系ポウジンテックス シーラー 15kg | 無希釈 | ハケ ローラー | 0.10~0.13 | 1 | 115~150 | - | - | 2h以上 | - |
| 上塗り | フロアピアニ 主剤 15kg 硬化剤 0.3kg | 0.7kg (希釈水) | ハケ ローラー | 0.12~0.16 | 2 | 48~64 | 24h以内 | 2h以上 48h以内 | - | 3h以上 完全硬化2日以上 |

※冬季などの低温時に調合後、塗料粘度が高いと感じた場合は、水を500gまで追加できます。(3.06kgセットの場合は100gまで)
※可使時間は30℃の場合、18時間以内となります。

■モルタル・コンクリート面(平滑仕上げ)

| 工程 | 使用塗料 | 希釈量 | 塗装方法 | 塗付量 (kg/㎡/回) | 塗回数 | 塗面積 (㎡/缶(セット)) | 可使時間 (23℃) | 塗装間隔 (23℃) | | |
|------|---|----------------|------------|-----------------|-----|-------------------|---------------|---------------|------|------------------|
| | | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 歩行可能 |
| 素地調整 | 新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填しておく。 | | | | | | | | | |
| 下塗り | 水系ポウジンテックス シーラー 15kg | 無希釈 | ハケ ローラー | 0.15~0.20 | 1 | 75~100 | - | - | 2h以上 | - |
| 上塗り | フロアピアニ 主剤 15kg 硬化剤 0.3kg | 0.7kg (希釈水) | ハケ ローラー | 0.12~0.16 | 2 | 48~64 | 24h以内 | 2h以上 48h以内 | - | 3h以上 完全硬化2日以上 |

※冬季などの低温時に調合後、塗料粘度が高いと感じた場合は、水を500gまで追加できます。(3.06kgセットの場合は100gまで)
※水系ポウジンテックス シーラーのかわりに「水系ポウジンテックス エポキシシーラー-II」を下塗りに使用するとより付着性が向上します。
※可使時間は30℃の場合、18時間以内となります。

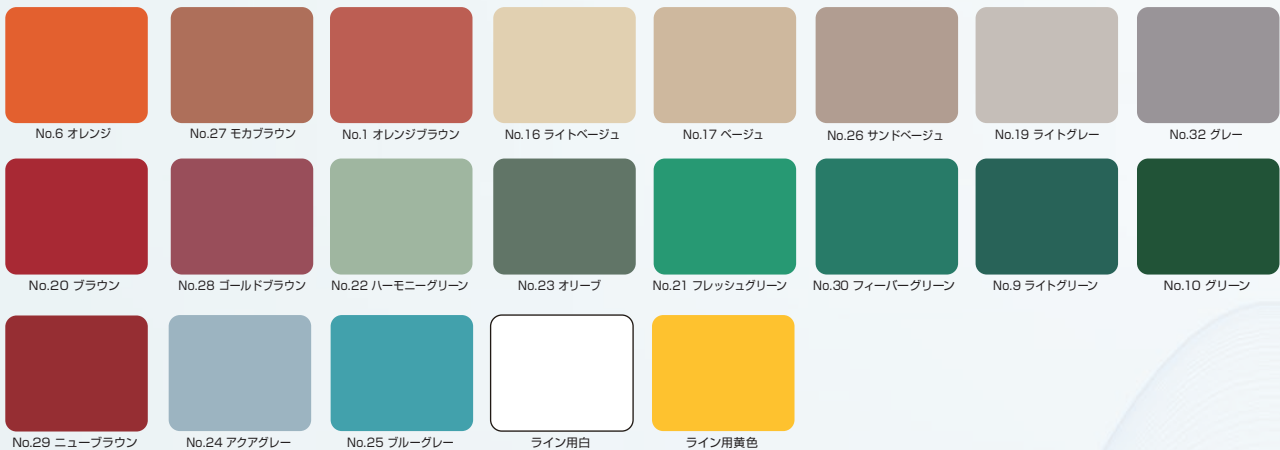
■モルタル・コンクリート面(防滑仕上げ)

| 工程 | 使用塗料 | 希釈量 | 塗装方法 | 塗付量 (kg/㎡/回) | 塗回数 | 塗面積 (㎡/缶(セット)) | 可使時間 (23℃) | 塗装間隔 (23℃) | | |
|------------------------------------|---|----------------|------------|-----------------|-----|-------------------|---------------|---------------|---------------|------------------|
| | | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 歩行可能 |
| 素地調整 | 新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填しておく。 | | | | | | | | | |
| 下塗り | 水系ポウジンテックス シーラー 15kg | 無希釈 | ハケ ローラー | 0.15~0.20 | 1 | 75~100 | - | - | 2h以上 | - |
| 中塗り | フロアピアニ 主剤 15kg 硬化剤 0.3kg | 0.7kg (希釈水) | ハケ ローラー | 0.12~0.16 | 1 | 96~128 | 24h以内 | - | 2h以上 48h以内 | - |
| 中塗り乾燥までに7~8号珪砂を0.1~0.3kg/㎡均一に散布する。 | | | | | | | | | | |
| 上塗り | フロアピアニ 主剤 15kg 硬化剤 0.3kg | 0.7kg (希釈水) | ハケ ローラー | 0.12~0.16 | 2 | 48~64 | 24h以内 | 2h以上 48h以内 | - | 3h以上 完全硬化2日以上 |

※冬季などの低温時に調合後、塗料粘度が高いと感じた場合は、水を500gまで追加できます。(3.06kgセットの場合は100gまで)
※水系ポウジンテックス シーラーのかわりに「水系ポウジンテックス エポキシシーラー-II」を下塗りに使用するとより付着性が向上します。
※可使時間は30℃の場合、18時間以内となります。

標準色

※お好みの色に調色することも可能です。その際は別途お問合せください。



注)この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。発注の際は色見本帳または塗り板で色を確認してください。

注意事項

仕様全般

1. 気温10℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、造膜不良や硬化不良を起こすことがありますので施工を見合わせてください。
2. 下塗りの塗付量が下限値以下の場合には剥離の可能性があります。
3. 塗装中に開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
4. 換気が不十分である場合、乾燥が遅れたり硬化不良を起こす場合があります。
5. アスファルト面には塗装できません。
6. 排水溝には捨てないでください。
7. 静電気をさらう床には塗装しないでください。
8. 屋内使用の場合、施工時および施工終了後において充分な換気を行ってください。
9. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
10. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
11. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

1. フロアピアニの主剤と硬化剤を混合する際は、途中で缶を逆さにして振った方が効率よく混合できます。
2. 冬季等の低温時にフロアピアニ調合後、塗料粘度が高いと感じた場合は、水を500gまで追加できます。(3.06kgセットの場合は100gまで)
3. 水系ポウジンテックスシーラーは水系1液型アクリル樹脂のため、剥離に繋がるおそれがありますのでレイトランスを完全に除去してください。
また、水を垂らしても吸い込みが速いような緻密面には不適です。
4. 水系ポウジンテックスシーラーと上塗り塗料との混合は絶対に避けてください。(混合するとゲル化します。)
5. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
6. シーラー塗装の際、吸い込みの激しい場合はシーラーを2回塗装してください。
7. 可使用時間を超えた材料は塗膜物性が低下しますので、使用しないでください。
8. 2液型塗料の主剤と硬化剤は別々に密栓して冷暗所で保管してください。また、開栓後は塗膜物性が低下しますので、使い切ってください。
9. 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないように3℃以上の室内で行ってください。
10. 材料の保管、取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。

LINE公式
アカウント開設！
ID: @521kgmun

水谷HPIは
こちら↓



水谷ヘイント株式会社



| | | | |
|--------|------------|-------------------------|--|
| 本社 | ☎ 532-0006 | 大阪市淀川区西三国4-3-90 | ☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101 |
| 大阪支店 | ☎ 532-0006 | 大阪市淀川区西三国4-3-90 | ☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456 |
| 西日本開発部 | ☎ 532-0006 | 大阪市淀川区西三国4-3-90 | ☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456 |
| 東京支店 | ☎ 101-0032 | 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル | ☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760 |
| 東日本開発部 | ☎ 101-0032 | 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル | ☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760 |
| 北関東支店 | ☎ 348-0038 | 埼玉県羽生市小松台2-705-22 | ☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124 |
| 中部支店 | ☎ 486-0815 | 愛知県春日井市十三塚町3-6 | ☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556 |
| 広島支店 | ☎ 734-0022 | 広島市南区東雲1-13-16 | ☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017 |
| 福岡支店 | ☎ 811-2304 | 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1 | ☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301 |
| 仙台営業所 | ☎ 984-0042 | 仙台市若林区大和町1-22-36 | ☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871 |
| 札幌営業所 | ☎ 003-0006 | 札幌市白石区東札幌6条5-2-6 | ☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464 |
| 工場 | | 本社・埼玉・中部・広島・福岡 | |

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
2408050334952